

I 学校の概要

ICT活用推進実践校事業 小豆島町立星城小学校

◆ 児童生徒数及び教員数（令和6年4月1日時点）

児童	第1学年	第2学年	第3学年	第4学年	第5学年	第6学年	全校	教員	15名
	2学級 18名	2学級 22名	2学級 19名	1学級 19名	3学級 27名	1学級 24名	11学級 129名		

◆ 学校の特徴

本校はめざす子ども像に「夢に挑戦する子」を掲げている。グローバル化、情報化の進む21世紀の未来社会においては、自分の夢をはっきりと掲げ、夢に向かって課題を解決していこうとする姿勢が求められる。しかしながら、自分の課題をもち、それらを様々な方法で解決していこうとする力や、自分の考えをもち、友だちと伝え合ったりグループで交流したりして考えをまとめたりすることに苦手意識をもつ児童が多い。

そこで本校では、1人1台タブレット端末の導入以来、様々な学習の中で積極的に活用し、ICTを効果的に活用できる場面を探ってきた。個々の課題解決のために、ICTを含む様々な方法や手段を自己選択したり、共有ノートの中で友だちと比較・分類したりしてきた。ICT操作活用技能も向上し、児童はICTの便利さや有効性を実感し、意欲的に学習に取り組むことができている。しかし、課題解決の中で、自分で解決する方法を考えて取り組めず、教師を頼ったり、単元を通した学習で自分にどんな力が付いたのかメタ認知できていなかったりと、課題も多く見られた。また、ICTの使用におけるルールが守れていないことも課題として挙げられた。

II 研究の概要

主体的・協働的に学び、伝え合おうとする児童の育成 ～ 学びの選択と振り返りの充実 ～

◆ テーマ設定の理由

多くの情報にあふれる複雑で予測困難な未来を見据え、これからの教育では児童の資質・能力を着実に育成し、様々なツールを選択・活用しながら課題を解決していく力が必要となる。1人1台端末の導入により、そのツールの一つであるICTを効果的に活用しながら、個別最適な学びと協働的な学びを充実していくことが求められる。

そこで本年度は、児童が話し合いながら自主的にルールをつくり、主体的・協働的に学ぼうとする児童を育成したい。自分の課題を解決する一つの手段・方法としてICTを活用し、必要な情報を選んで自分なりにまとめる等、個別最適な学習をさらに進めたい。また、ICTを使って自分のノートを工夫して作り、学びを残していけるようにする。併せて、友だちと学び合い、広め深まった自分の考えを振り返り、学びを伝える活動を工夫することで、プレゼン力も育てたいと考える。さらに、学習の中だけでなく、様々な教育活動の中でICTの日常化を図り、さらなるICTの利活用を進めるとともに、児童主体の学びの在り方を模索していきたい。

◆ 研究内容及び方法

- ① 個別最適な学びの充実
 - ・ 「星城スタンダード」の共通実践を行う中で、児童が個々に課題解決する方法や手段を選べるよう、環境設定を行う。
 - ・ 教科や学年に応じて ICT を活用した自分のノート作りを工夫し、毎時間の学びを記録に残す。
 - ・ 家庭学習との連携を図り、児童一人一人が自分のペースで学びを定着できるようにする。
- ② 協働的な学びの充実と振り返り活動の充実
 - ・ 友だちと学び合って自分の学びを広めたり深めたりし、自分の変容・成長をメタ認知できるよう学習を振り返り、伝え合う活動を行う。
 - ・ 他校と大型モニターを通して協働的に学び、伝え合う場とする。
- ③ 情報教育の計画的実践
 - ・ 児童が自主的に ICT 活用ルールを作成し、日常的・効果的に使えるようにする。
 - ・ 朝の活動や昼の活動の時間を活用し、各学年で身に付けたい情報活用能力の体系表をもとに、基本操作の習得や情報モラルについて計画的に身に付ける。
- ④ 教職員の ICT 活用技能の向上
 - ・ 校務における ICT の日常的活用
 - ・ ICT 支援員と連携し、ICT 活用スキルの向上や多様な活用ができるための ICT 研修を実施する。
 - ・ ICT を活用した授業実践を行い、指導主事より指導・助言をいただく。

Ⅲ 研究の評価方法

- 全国学力・学習状況調査や県学習状況調査の質問紙調査の項目を参考に、学習に取り組む姿勢や ICT 活用に関する内容アンケートを自校で作成し、年度当初と 1 学期末、2 学期末で数値結果を比較・分析する。
- 児童生徒と保護者、教職員に行う学校アンケートの ICT 活用の項目について、令和 5 年度との比較・分析を行う。
- 年 5 回の星城版漢字・計算テストへの取り組み方の変容や、日々の授業実践の中での児童のノートや振り返りの記述等の変容の分析を行う。
- 全国学力・学習状況調査や県学習状況調査の各教科における前年度との比較、県平均との比較を行う。